



標津町社協豆だより



発行／令和5年 8月 1日

令和5年度 赤十字活動資金へのご協力をお願い

町民の皆様には、赤十字事業の推進につきまして、日頃より格別のご高配を賜り心よりお礼申し上げます。日本赤十字社は、国内外の平和と福祉増進のため、人道と博愛の精神を基本に救援活動や医療事業をはじめとする各種事業を推進しております。国内外の災害被災地や紛争地域の避難民に対し、災害救援物資の配布や医療救急隊の派遣などを行い、世界中で支援を待つ人々を一人でも多く救うため、幅広い分野で活動を続けています。

国内においても、地震や台風の自然災害が多発しており、多くの方が被災されていますが、こうした被災地に対し、災害援助物資の配布、医療救援隊の派遣等迅速な救援活動を行っているほか、血液事業、医療事業、赤十字ボランティア、青少年赤十字の育成等、広範に活動しています。これらの事業を推進するための活動資金は、みなさまからご協力いただいている社資（社費並びに寄付金）により賄われています。つきましては、赤十字の活動についてご理解を頂き、活動資金へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年8月 日本赤十字社標津町分区 分区長 山口 将悟

社資納入袋「赤十字活動資金 寄付申込」を広報しべつ8月号とともに配付させていただきました。とりまとめにつきましては、各町内会様をお願いいたしておりますが直接事務局（保健福祉センターひまわり内）までお持ちいただいても構いません。

令和5年度 赤い羽根共同募金寄付金付きピンバッジの「贈呈式」を行いました

去る7月24日（月）、標津中学校体育館において、令和5年度の赤い羽根共同募金寄付金付きピンバッジの「贈呈式」を行いました。この日は、標津中学校の第1学期の終業式でしたが、その前の時間をお借りしました。



当日は、標津町共同募金委員会の今野千昭会長より、採用になったデザインを考えた椎久銀河君にデザインが入ったパネルを贈呈しました。

標津町社会福祉協議会の願い

ひとは、いかなる世（家庭、社会等）でも、一人では生きていけない。そのために「助け合い・支え合い」が必要である。「助け合い・支え合い」には「助ける人・支える人」と「助けられる人・支えられる人」で成り立ち、「自惚（うぬぼれ）」も「卑屈（ひくつ）」もない人間関係であり、同時に「身の丈の支援」を共通認識し、「お互いさま」「ありがとう」が原点である。

高齢者軽スポーツ大会 ご参加・ご協力ありがとうございました

7月25日(火)に標津町総合体育館にて開催いたしました「第50回高齢者軽スポーツ大会」にご参加ご協力を賜りました皆様に心よりお礼申し上げます。今年度は5チームが成立することから、記念すべき第50回目の大会として開催いたしました。

当日は町内の60歳以上の皆様約90名が一同に集い、老人クラブの4色チームと一般参加者チームの合計5チームが軽スポーツやレクリエーションゲームで競い合いました。熱戦に次ぐ熱戦に応援の声にも力が入り、気温や湿度も手伝い、会場内は熱気にあふれていました。結果につきましては2チームが同点(しかも1位・2位・3位の数も同じ)だったことから、最終的にはジャンケンで決めてもらいました。その結果、「川北しらかば会」が優勝しました。これで、優勝回数が大会史上最多の18回となりました。いつもより少し多めに身体を動かした後の気分も爽快、笑顔あふれる一日でした。

本大会の開催にあたり、標津町、標津郵便局、川北郵便局、薫別郵便局、標津町老人クラブ連合会の皆様、運営にご協力を頂きました高齢者福祉相談員始め、社協役員、社協評議員、民生児童委員、ボランティアの皆様心よりお礼申し上げます。いずれにしましても、参加者全員が熱中症始め怪我や体調を崩す方もいなく、無事にスポーツ大会を終えることができ、事務局としましても一安心しております。



車椅子・ベビー用品の貸出しを行っています。

町内在住の方に、次の物品の無料貸出しを行っております。是非ご利用下さい。

貸出用品：車椅子・ベビーベッド・チャイルドシート・ベビーバス・ベビーカー・ジュニアシート・バウンサー・ベビーソファ・食卓付ハイチェア・歩行器

対象：標津町内在住のご家族
里帰り出産の方もご利用下さい

利用料金：無料
ご希望の方は社協までお問い合わせ下さい。

～ご寄付ありがとうございました！～

町内双葉町「しれとこ模型愛好会」代表 藤山豊様、及び町内の富森文江様よりプルタブを寄贈いただきました。

発行 標津町社会福祉協議会

標津町北1条西5丁目6番1-2号 保健福祉センターひまわり内
電話 0153-82-1212 FAX 0153-82-1530